



◀12月13日、南国市造園業協会の皆さんにことしもボランティアで、市庁舎の庭木とJR後免駅周辺の公園の緑樹を剪定していただきました。



▶藩政時代の悲恋で知られる大楠乙の「お聖土地蔵」のお堂が、老朽化のために周辺の住民の寄付で新たに建てられました。



◀市連合婦人会は12月13日、市役所でことし配属されたALT4人を招き、茶会などの日本文化をとおして交流を深めました。



◀十二月六日、生涯学習への意欲を高めようと、保健福祉センターで「第十二回生涯学習フェスティバル」が開かれました。まず、市内各中学校の代表四人が生徒会活動・人権などについて、日ごろの思いを意見発表。続いて、パラエティ・ビデオコンテストの優秀作品を上映しました。その後、NHK松山放送局アナウンサー・徳田章さんが「瞬間を伝える」マイクの裏側から」と題して講演。約二百人が熱心に聞き入っていました。



◀十二月十三日、十市右土池周辺で第二回南国市小学生駅伝大会が行われました。小学生のこころから駅伝競技に興味を持ってもらおうと市陸上競技協会が開いているものです。この日は市内の小中学校から二十二人が参加、百三十二人の選手は、六区間(男女、各三区間)八・二キロのコースを保護者らの声援を受けながら、力いっぱい走り抜きました。



▲人権週刊のスタートした12月4日、市の人権擁護委員8人がアトム幼稚園(緑ヶ丘)を訪れ、人をいじめないことが人権をまもることです、と色とりどりの風船をプレゼントしました。また同日午後には、大湊小学校の6年生20人が特別養護老人ホーム「白銀荘」などを訪れ、子どもたちが協力して育てた「人権の花(パンジー)」やメッセージカードなどを手渡しました。



▲十二月十四日、保健福祉センターで約百人が参加して「有田市人権のつどい」が開かれました。これは市民の人権意識の高揚と同和問題の正しい理解を求めて、毎年この時期に開催しているものです。ことしは、女優の宗富子(ツシム・フジヤ)さんを迎え、ひとり芝居「愛するとき奇跡は創れる」を上演。参加者は、彼女の熱演に声もたてずに見入っていました。



▲11月30日、久礼田体育館で第6回芸術大会が開かれ、地域の芸術者な人たちがご自身の芸を披露。詰め掛けた約200人の観衆から、さかんな拍手が送られていました。また、同地区では農業集落排水事業の準備が進んでおり、事業に関する寸劇も行われ、さらに会場には地域の人たちや久礼田小学校児童の絵画などの作品が展示され、訪れた人たちの目を楽しませました。



◀11月24日、久枝のなぎさリフレッシュ海岸周辺で、「第2回国際交流ピクニック in 南国」が開かれました。留学生など約150人が参加。「国際化を南国市が先取りする」と、浜田市長の開会のあいさつの後、高知大農学部から同海岸まで約2.5kmをウォーキング。海岸でごみを丹念に拾い集めた後、民主児童委員らが準備した、おにぎりときじ漬で楽しく昼食。この後、フライングディスクゴルフを楽しみました。



▲ウェルカムなんこくフリーマーケットが11月25日、市役所の駐車場で開かれました。家庭で不要となったものなどをリサイクルしようと、同実行委員会が年2回開いているものです。この日は、市内外から60もの出店があり、開場前から人が集まり始めるなど、会場は大にぎわい。女性に交じて男性もずらり並んだ品物を買って求めていました。



▲11月18日、恒例の福祉バザーが社会福祉センターで開かれました。会場にずらりならんだ商品は、いずれも格安のものばかりとあって、詰め掛けた大勢の市民が買い求めていました。なお、この日の収益金は社会福祉事業に役立てられます。

▶11月27日、稲生小学校で「歯と口の健康づくりをとおして」の健康教育研究発表会が行われました。同校は健康推進活動の中心を歯科保健におき、市教育研究所の研究協力校に指定されています。当日は、公開授業も行われ、2年生の学級では「むし歯になりやすいおやつ」について楽しく学びました。



◀11月21日、ホリデイホール(明見)で、遺族ら約450人が出席して南国市戦没者追悼式が行われました。戦没者の霊を慰めようと、市が毎年行っているものです。式は全員の黙とうに続いて、市内15地区から出席した遺族の全員と市、県の関係者らが献花を行いました。

▶市保護者会連合会主催の第三十四回保育まつりが十一月二十三日市農協野田ライスセンターで行われ、約二千人の親子連れでにぎわいました。親子の触れ合いや各保育所(園)の交流を目的に毎年開かれてはいるものです。会場では、各保護者会と保母さんの協力で開いた模擬店や木工・折り紙教室が人気を集めていました。



◀11月21日、ホリデイホール(明見)で、遺族ら約450人が出席して南国市戦没者追悼式が行われました。戦没者の霊を慰めようと、市が毎年行っているものです。式は全員の黙とうに続いて、市内15地区から出席した遺族の全員と市、県の関係者らが献花を行いました。



◀炭路小学校の裏山に、地域の保護者やお年寄りらの協力で、十一月二十四日、炭釜が完成しました。炭が焼けた十二月三日には児童三十一人も参加し、地域の炭焼き名人の協力を得ながら、釜から真っ黒の炭を次々と出しました。炭焼きは三学期にも行われ、出来上がった炭は販売され、PTAの事業資金や千歳市の支那湖(こっこ)小学校との交流事業資金に使われます。

